

謹賀新年

名古屋城



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226



頌

春

理事長 村上 章

せん。

この様な世相ではありませんが当組合では、全板連・日板協が提唱しております全板型保証制度の普及、太陽光発電システムの促進、そしてリニューアル工事の施主からの受注等の事業に取組み、成果を上げることが出来たことは八つの各委員会の委員長を始め、委員のたゆまざる精進の賜物であると心より感謝致しております。

各委員会の具体的な事業として先ず、総務・広報・厨房空調・技術研究の委員会には、永年御苦労して会務に御盡力を頂きました委員長との交替がありました。前任者同様御支援頂きますことを期待致しますと共に、前委員長各位のご功績に厚く御礼申し上げます。太陽光発電システム開発は、一昨年に特別委員会を立上げ、昨年は実技も取入れた講習会を催し、日新総合建材様とクボタ様両商社の御協力を賜わり、岡崎のストーン祭り、刈

を予定しスケジュール表は、各理事のお手許に通知済みでありますので、ご覧頂き参加していただきますことを期待しています。

なお、厚生委員会では、全板国保そして全板国民年金基金への加入を合せて促進中であります。一人でも多くの方々に老後の保障として加入して下さることを願ってやみません。又、経営対策委員会では、昨年来の道路交通利用(別納カード)を提唱して多数の方々の御利用を願っています。

今年は、中部圏に活性化をもたらす愛知万博開催に伴う工事と、国際空港の建設も本格的に始動しております。望みをもって頑張りましょう。結びになりましたが天馬が空を征く、本年の干支は馬であり、何事も諸事うまく行くことと、愛知県板金工業組合の更なる発展と組合員各事業所の御隆盛と皆様方の御多幸を祈念申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。



匠の技

副理事長 齋藤 充昭



明けて

おめでとう御座います
組合員各位には平成十四年の新春をお家族一同お健勝にてお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

近年IT革命が盛んに言われる中で、それにも増して「職人の技」が日常生活に正しく受け入れられる時代になって来ました。毎年開かれる「名古屋職人展」「技能プラザ」には年々来場者が増えている状況から、物作りを業とする仲間にとって此の上もない喜びです。一昔前まで「職人」は貧乏人階級の風潮がありました。社会の進展と共に専門技術者としてばかりでなく「特別職」に認識される様になり我々板金業も「職人」を誇りに出来るよき時代になりました。ただ板金業界も加工においては機械化が進み、既製資材の回りで作業内容が取付屋体質に変化して個人の



技術力は低下の様相です。それと同時に、名工と称される職人は減少傾向です。確かに時代の先端であるIT化に乗遅れない対策に万全を期す事は絶対的です。また職人気質だけで生活の糧を得ることは難しい世の中です。豊かな日常生活の向上に向け各自がITを取り入れた斬新な経営方針を打ち出すと共に優秀な伝統技術を後世に伝える使命からも一層の技術研鑽が求められます。昨秋、伝統文化・技術の育成と保存に力を入れている「飛騨高山」と「北陸金沢」へ職人の技を見学に訪れました。高山では秋の高山祭りが終わった翌週、二十一世紀を記念して「高山祭屋台特別曳き揃え」が企画され絢爛豪華な十三台の祭り屋台が表参道や江名子川沿いに並べられていました。普段は屋台会館でしか見られませんがこの日は手の届く程の近くで眺めることができ「獅子や龍の彫り物、飾り金物、漆塗工芸」など実に繊細で見事な出来栄に改めて「飛騨の匠」の力量を認識し直した一日でした。また匠のもとで若者たちが名工

目指して技の習得に懸命に働いています。

一方、加賀百万石の金沢では兼六園の隣にある金沢城址が「金沢城址公園」として整備・開放されました。公園内には、菱櫓・五十間長屋・橋爪門・櫓・橋爪の一の門・鶴の丸土塀など金沢城遺構群が史実に基づき忠実に復元されましたが、これには大工職・左官職・板金職など地元石川県内から六万人の職人が歴史文化遺産の再現に優秀な技術を発揮しました。園内に入り建造物の大きさ、美しさに見とれました。中でも能登の大工職人が造った菱櫓は土台も柱も屋根も天井も階段までもすべて菱形。技の神髄を見た思いでした。また石川県板金の皆さんが総力を挙げて施工した鉛瓦葺きの屋根は見事な仕上がりでした。鬼瓦から棟板、下り棟に唐破風まですべて鉛板を用いた鉛瓦は金沢城独特のことでした。公園入口に建つ一七八七年に再建された石川門の白く輝く鉛瓦の屋根は「白門」と呼ばれ当時の職人の仕事は今も光輝いています。機会があったら是非見学されることをお勧めします。様々な職業の分野で繊細な神経と優秀な技術力を持つ日本の職人は国外でも注目されています。NHKテレビで放

映された「プロジェクトX 挑戦者たち」ではカンボジアの石造寺院アンコールワットの修復と現地の若者の技術指導

謹賀新年

副理事長 長谷川 信俊



新年明けましておめでとうございます。新春をご家族一同様お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日本国民が待ち望んでいた皇太子妃雅子さまの、ご出産はんととうにお目出度うございます。

本年こそ世界また日本が平和な良い年に成りますように。今、企業を取り巻く環境は

に情熱を燃やす老舗の石工職人の姿に感動しました。終点のない職人道は習練の日々が果てしなく続きます。

今年も互いに助け合って実りの多い年であるよう祈念致します。



あけましておめでとうございます

副理事長 高柳 一男

皆様には、ご家族おそろいで新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃は愛板事業にご理解とご協力を頂き大変ありがたうございます。皆様一人一人の

結びになりましたが皆様にとりまして輝かしい幸せな年であります様ご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。ご協力が私ども役員にやる気を湧かせてくれます。ここに新年を迎え更なる事業の充実を願うものであります。二〇〇一年の組合事業は、保証制度の拡充、ソーラーシステムの勉強、「IT」への挑戦と我々業界の今後に大切な事業をやってきました。こ

2 頁より

れも今の時代の中、組合員であるがゆえに組織を通じて出るところの時代の先取りであります。この事業をうまく利用して、新しい板金業界を築いて頂きたいと思います。

さて、今年のキーワードは、愛知万博に向けての「地球環境」であり次に「IT」ではないでしょうか。日本の経済が、インフルエンザにかかっている現状では我々のところに流れてくる金の流れは我々の台所を良くしてくれないでしょう。今の時代の中で生き残れるよう、つぶされないよう、生き残りを工夫しなければなりません。そのために我々は何をするのか、そのキーワードが「地球環境」であり「IT」であります。

そのキーワードのもと、いろんな施策が練られております。ソーラーシステムについては技能、技術の講習をおえ三月、四月で九十余名の施工可能者ができました。今後はいろいろなチャンスをつかんで屋根材形ソーラーシステムの PR をしていかなければ仕事はきまっていけないでしょう。今までは待っていれば仕事はどんどん舞い込んできました。故に、待ちの商売で十分やっていきました。しかし、今のような時代の中では、そ

れでは仕事にありつけません。腕が良くて、いい商品でも仕事はきません。どうすればいいか、いろんな方法で営業に出なければならぬのです。

県板では四月のソーラーの講習会後にソーラーシステム屋根架台を製作、十一月に岡崎ストーションフェア、刈谷市工業技術試験場でのテクノフロンティア、吹上ホールの機能プラザと三回のイベントにソーラーシステムの展示をする機会に恵まれました。

一般のお客様にソーラーシステムを売り込むことの難しさ、営業の難しさをつくづく感じさせられました。何も知らない人に、ソーラーシステムに目を向けさせ、説明を聞いて頂くことの難しさは、大変なものがあります。そんな中でこちらの話を傾けてくれる人がいると、聞いてくれたことが嬉しくなってきました。時にはドキッとさせられる質問に自分の知識の無さを感じ、またお客様にニーズについての勉強不足を感じます。これからも機会があれば、営業の勉強をして仕事に結びつけたいと思います。

今年も経済、景気とも良くならないでしょうが、そんな刺激に負けないよう頑張ります。

新年のご挨拶

愛知県亜鉛鉄板間屋会

会長 加藤 芳文

新年あけましておめでとうございます。

昨年は私共間屋会の会員が大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしく御願い申し上げます。

さて二十一世紀最初の年である昨年を振り返ってみると、なんとと言っても強烈なのは、九月に米国で発生した中核同時テロでしょう。民間航空機が乗っ取られ、それが米国を代表する高層ビルその他に同時に突っ込むなんて、誰が想像できたでしょう。そしてそれに対する報復のアフガン空

新年の御挨拶

積水化学工業株式会社 中部支店

支店長 本 庄 正 良

新年 明けましておめでとうございます。

平素は、エスロン雨どいをはじめ、弊社建材製品をご愛顧賜り、まことに有難うございます。又昨年は、カーボン雨どいに関しては、格段のご愛顧を賜り、重ねて御礼申し上げますとともに、本年も倍旧のご愛顧を賜りたく紙面を借りてお願い申し上げます。

さて、私どもを取り巻く環



爆、そこへ炭疽菌事件まで発生して世情は混沌、米国における失業率は急上昇しました。一方、我国を見れば輸出と生産の落ち込みが加速し、企業収益の悪化、完全失業率は過去最悪を記録、そこへ狂牛病事件の発生等不安心理も膨らみ、世界同時不況の懸念が強まる中で日本経済は大きく揺さぶられました。そんな暗い話題が多い中で明るい話題のトップは、なんとと言っても大リーグにおけるイチロー選手の活躍でしょう。パワートとスピードあふれる大リーグ野球、本物ひしめく大舞台で新人記

録を次々塗り替え、首位打者と盗塁王、そして新人王まで獲得しました。偉業という他はありません。自信を失いかけた日本が海の向こうからいかに励まされたことでしょうか。次にいよいよ今年に目を向けて見ましよう。残念ながら先が見えないこの暗闇がまだまだ続きそうです。

しかし、私共の業界に希望の持てる話題もあります。新設着工戸数は減少していますが、日本の総住宅数は約五千万戸といわれています。その内の五割の二千五百戸は築二十年以上経過しており建て替え対象住宅であると考えられます。そしてもう一つはリフォーム需要があります。この二つの膨大な潜在需要をいかに掘り起こすかが重要です。

来、発注形態・品質管理手法等、抜本的な見直しを検討・実施しているところでありまた、板金店様におかれましても、こうした環境変化への、柔軟かつスピーディーな対応が欠かせないものと考え、弊社も微力ながら、情報提供等、皆様のお役に立てる会社を目指して努力して参る所存でおります。

一方、メーカーの使命としての、商品開発や営業支援におきましても、昨年来当社では、高耐候雨どい「アートフェイス T シリーズ・H シリーズ」先日ある大手住宅会社が坪二十五万円からという低価格の戸建て住宅を売り出したところ一カ月で約三千七百戸を受注しました。一方では、一生に何回もない買い物だけに、価格にこだわらない顧客も多く、むしろ高級路線を強化する企業もあります。今後戸建て住宅は高額品と低価格品の二極分化が進むと見る向きもあります。

新しい需要、新しい可能性を探り、変化する時代に対応しながら、今年一年組合員の皆様とお互いに知恵を出し合い生き残りをかけて頑張りたいと思っています。最後になりましたが皆様方のご健勝とご多幸を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

「高耐候屋根材『ブルック』色揃え四色（ラステイグリーン、テラコッタブラウン、ダークブラウン、グレー）」セキスイかわら「METAL」を上市、市場ニーズに応えて参りました。

本年も更に商品開発を進め、皆様のご期待に沿うべく努力して参りますので、忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせ願えれば幸いです。最後に、皆様方の益々のご健勝と会社のご繁栄を心より祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝 受賞おめでとう ございます

平成十三年は、次の組合員の方々が表彰されましたので紹介いたします。
組合員ごぞって祝福し、これからも益々ご活躍されますよう祈念
したいと存じます。
順不同・敬称略

愛知県知事表彰

優秀技能者

西俣 章

(豊田支部)

名古屋市長表彰

技能功労者

近藤 朗

(瑞穂支部)

武藤 助太郎

(中川港支部)

櫻木 忠雄

(中川港支部)

名古屋市

技能職団体連合会

会長表彰

優秀技能者

後藤 賢治

(瑞穂支部)

(社)愛知県技能士会

連合会

会長表彰

会員功労者

鈴木 一三

(中支部)

神谷 定幸

(碧南支部)

全日本板金工業組合

連合会

理事長表彰

組合功労者

鈴木 幹彦

(東北支部)

糟谷 満

(西尾支部)

三浦 誠治

(豊田支部)

黄緩 褒章

羽柴 弘和

(西春支部)

(愛知県板金総合職業
訓練協会推薦)

愛知県板金技能士会

会長 佐藤 忠雄

新しい年を迎え、愛知県板金工業組合員の皆様にはおめでとうございます。新しいカレンダーを見る度にこの一年の輝かしい抱負を巡らせておられることと思います。

技術士会長になって、夏、秋、冬の季節が過ぎました。技能士会及び技能委員会では末席ながら長い間お世話になっておりましたが、石原前技能士会長が健康上の理由で半年ほど前に退任され、常務理事会の席で後任の任命を受け、技能検定試験を目前に控え、

支障をきたしてはと考える余裕もなく大役を受けました。私はそれほどの器ではございませんが、石原前会長の意志を引き継いでふさわしい会長の現れるまで努力致しますので、今後ともよろしくお願い致します。

新しい年を迎えて

事務局長 谷 沢 祥 宏

謹んで新年の御慶びを申し上げます。

システムへの加入により、組合員の皆様に便宜を図ることを始めました。

私は新米の事務局長として、「右も左もわからない」以上に、前後・左右・上下とも初めてのことが多く、周囲に迷惑をかけながらも、皆様の暖かいバックアップにより、新年を迎えることが出来ました。

心から感謝いたします。

一方、経済は依然として厳しい状況にあります。しかし、名大の野依教授がノーベル賞

を受賞、大相撲で岡崎出身の琴光喜が優勝、愛工大名電高校出身のイチローがアメリカの大リーグで最優秀選手に選ばれる。皇室での慶事など、明るい話題がありました。

本年が組合員の皆様にとって良い年でありますようお願いいたします。

の展示会への出展を(財)新エネルギー財団の草の根支援活動に応募しました。

また、高速道路別納カード



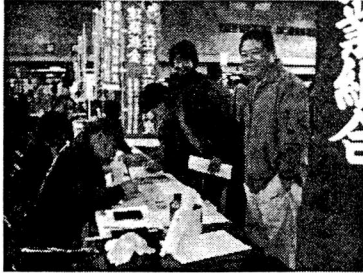
「あいち技能プラザ2001」 名古屋吹上ホール十一月二十四(土)二十五(日)

(注)愛知県技能士会連合会主催のあいち技能プラザが、十一月二十四日と二十五日の二日間、名古屋吹上ホールで開催された。

この催しは愛知県の大手企業内にある技能士会と組合団体の、合わせて二十五の技能士会と九社の協賛会社が出展して例年開催されている。

愛知県板も毎年技能士会と技能委員会が協力して二日間のイベントに出展している。

愛知県板は会場の中央に体験コーナーを設けて銅板打ち出しの表札つくりと銅板のレリーフ製作体験コーナーを開催して多くの親子連れや参加者に一日技能士に挑戦していただいた。



▶表札受付

表札製作には江南支部の今井文夫氏が事前に表札に0・3ミリの銅板を張り用意して、会場で来場者が申し込んだ氏名を墨書きして釘で打ち出す作業である。墨書きは二十四日は浜口氏、二十五日は前理事長の平野氏のご令嬢に書いていただき、二日間で八十枚の表札が販売された。

またレリーフは一宮支部の佐藤技能士会長が0・15の銅板をはがき大のサイズにカットしたものに硫化着色した材料に花や動物の図柄集の中から気に入った画をボールペンで銅板に写し取り、凹凸をつけてから磨くと素晴らしいレリーフが出来上がる。小さな子供さんから大人まで皆さん



▶会場風景

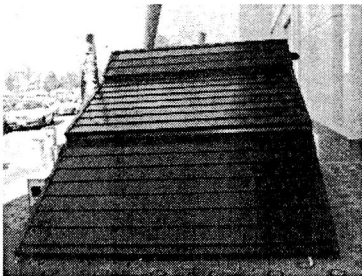
がとても喜んで作っていた。硫化着色銅板は加工するのが大変で佐藤氏によれば九月ころの天気がよく風の無い日に八十枚の銅板に一日がかりで硫化着色加工したと言われた。

また今回の技能プラザには技術研究委員会が太陽光発電システムの模擬屋根を会場の西側屋外に展示、クリーンエネルギーの実験を赤色回転灯やミニチュア鉄道模型を走らせて発電しているのを見学者に見てもらった。

会場内に「ロボタのエコロニー」と日新総合建材の「めぐみちゃん」のミニチュアを展示、興味のある見学者に屋外を案内してみてもらった。

この模擬屋根は高柳前技術研究委員長が今回の展示のために設計から組み立てまで一切を受け持ち無事展示することが出来た。

驚見



▶太陽光発電システムの模擬屋根

西三板金連合会総会

11月6日(午後2時より三谷温泉ひがきホテルにて第34回(平成13年度)の西三板金連合会総会を開催した。西三板金連合会は西三河の8支部(岡崎・碧南・刈谷・豊田・安城・西尾・知立・幡豆)によって構成され、会員数は243名である。毎年11月に総会を開催しており、今回は刈谷支部が会場の設営や会の進行を担当した。会員69名が出席し

来賓として村上理事長、驚見名古屋板金連合会長、吉田東三ブロック長そして谷沢事務局長に出席を願った。

総会は定刻通りに始まり、外山敏氏が司会役を務めた。

望月刈谷支部長、毛利西三板金連合会長、村上理事長、驚見名古屋板金連合会長がそれぞれ挨拶を述べられた。つづいて議長に野田和彦氏が選出され議事に入り、次の議題を審議した。

①平成13年度経過報告
②会計報告
③監査報告
④平成14年度事業計画案
⑤予算案
⑥西三板金技能士会報告
⑦西三板金青年部報告

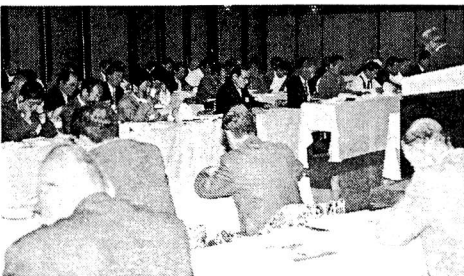
すべての議題が満場一致で承認された。④の14年度事業計画案では、高柳副会長より・現在の世間相場での単価表

の作成。
・次世代を担う青年を対象に積算方法の講習会を開催し同時に新素材や新製品の紹介をする。

という提案がなされた。議事後、谷沢事務局長より県板の現況報告があり総会は終了した。

引き続き総会後のイベントとして講演会を行なった。講師に岐阜県揖斐郡でゴキブリだんご等を製造しておられる㈱タニサケ社長の松岡浩氏を招き、「平凡なことをやり続けて日本一をめざす」と題して講演していただいた。松岡氏はユーモアのある川柳や狂歌をまじえて、同社のユニークな社風づくりについて述べられたが、氏の後ろ姿での社員教育やおもいよりの言動には感銘を受けた。

ひがきホテル自慢の露天風呂を満喫した後、6時より懇親会に入り、この席には3社の問屋さんと講師の松岡氏にも出席していただいた。大半の会員が同ホテルに宿泊することになっており、この夜は十分に飲み語り合った。翌日は朝食をすませて流れ解散となった。尚、県板の新年懇親会は当ひがきホテルで西三ブロックが担当して開催されます。多数の出席を願います。

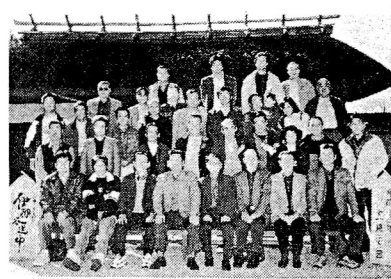


▶総会風景

「親睦旅行バスにて 信州伊那谷道中を訪ねる」

知多支部では、去る十一月十八日(月)念願叶っての親睦の旅、当日は快晴で絶好の旅行日和、車窓から眺める風景は紅葉も秋の終盤を告げるかの如く、ちょっと遅かった感じ、冬の訪れが間近かと感じさせる光景、バスは一路目的地へ、久しぶりの再会対話に熱がはいり、世情の背景に鬱憤を発散している人、終始微笑を描き楽しんでる人それぞれ、目に映る光景が爽やかに目に映る。このような一駒の時間をすごしている間、待望の信

州ふるさとの杜、伊那谷道中に到着、杜の駒どめに宴席を設け、満願成就の湯に浸かりつつ、蟹江支部長による発声、饗宴の幕開け、宴酒もびりりと身に染み辛く、肴も独特な里の味、信州ならではの風情を満喫、更に古の伝統ある生活様式、並び工芸の数々、伝承の里を見学体験、昔を忍ばせる思いでの道中を散策、思い出を後にして杜を去る、地元特産のリンゴなどを手土産とし、忘れる事なく家庭サーブスにも余念なく、参加者に



蘇る懐かしき
信州伊那谷

碧南支部 集団健康診断

碧南支部では10月9日午前8時30分より支部の事業として、はじめて集団検診を実施した。検査機関として碧南市医師会臨床検査センターに依頼し、検診場所は碧南市保健センターであった。今回受診したのは12事業所の20名であった。検診項目は次の通りであった。

- ・ 胃の検査
- ・ 胸部レントゲン
- ・ 尿検査
- ・ 心電図
- ・ 身長・体重
- ・ 問診
- ・ 視力
- ・ 血圧
- ・ 聴力

所要時間は約1時間程度であった。費用は一人当たり一万五千円+消費税であるが、全板国保加入者については一万五千円(家族は半額)の補助があるので個人負担がほとんど無いということである。

自分の健康は自分自身で守らなければならない。その為にも最低年一回は健康診断を受けた方がよい。最近では中

小の建設会社でも現場作業者の健康診断受診の有無を申告させる所が多い。

個人で健康診断を受診しようと思っても、なかなかふんぎりがつかず、のびのびになり、結局受診しないままになってしまふ人が多いのではないだろうか。そこへいくとこの集団検診はそのふんぎりをつけてくれると思う。ただこの集団検診は個人のプライバシーに関してやや難点があると思われる。このことにもっと配慮すれば受診者が増えるかもしれない。

碧南 高橋

11月各支部の動き

名古屋板金連合会	16日	三役会	48名
支部対抗ボーリング大会	24日		
尾張名古屋職人展の反省会	30日		
忘年会及び新年会の打合せ	12日		
中村支部 定例会	20日		14名
昭和支部 月例会	9日		13名
ボーリング大会案内			
支部忘年会の件			
瑞穂支部 定例会	1日		22名
ボーリング大会参加者決定			
技能プラザ案内			
厚生委員報告			
支部忘年会の件			
熱田南支部 定例会	22日		
一宮支部 役員会	21日		24名
瀬戸支部 定例会	17日		10名
県板新年会について			
忘年会打合せ			
江南支部 役員会	15日		
支部新年会について			
県板新年会参加者決定			
津島支部 定例会	5日		4名
春日井支部 定例会	8日		14名
西三板金連合会	26日		4名
西三板金連合会	6日		69名
総会	26日		9名
支部忘年会担当打合せ			
14年度事業計画			
岡崎支部 青年部技能競技大会の課題練習	29日		
豊田支部 第8回役員班長会	10日		22名
刈谷支部 西三板金連合会総会を担当	6日		19名
安城支部 役員会	5日		7名
幡豆支部 幡豆・西尾・碧南三支部忘年会主催	24日		
西尾支部 役員会	14日		18名
三支部忘年会	24日		9名
青年部忘年会	29日		24名
碧南支部 三支部忘年会	24日		8名
知多支部 役員会	1日		23名
1日親睦バス旅行	18日		32名
東三支部 東板会ゴルフコンペ	1日		
新板C.C	6日		8名
定例会	12日		16名
青年部定例会	26日		10名
三役会			5名

編集後記

「大晦日」おのみそかとは十二月三十一日のことを言うことは皆さんがご存知のことと思う。「晦日」みそかとは毎月の月末のことである。

十年位前から年末があまり年々らしく無くなってきている。年末になると大掃除をして家の内外を綺麗にし、しめ縄や門松を立て元旦を迎える。最近あまり大掃除をしなくなりましたが、しなくても底きれいである性かもしれない。もともと年末の晦日でも家を綺麗に掃除して新しい月を気持ちよく迎える習慣が神仏には晦日から一日にかけてお参りをする習慣が残っていて一日には家の周りを清めるし、今でもお千代保稲荷などは晦日の夜は多くの参拝者で賑わう。近頃、元日も国旗を掲揚する家庭はほとんど見なくなった。

私たちの仕事上でも以前は大晦日までにその年の支払いがすべて済ませていたものが最近では年末でも集金に出来ない晦日と変わりが無くなってしまった。

十一月二十九日(木)曇
三六七号 編集会議
委員 九名 出席
午後二時〜午後四時
十五分終了 鷺見